



## 第72回 在宅チーム医療栄養管理研究会記録

日 時：平成26年12月7日(日) 14:00～16:50  
場 所：㈱三和化学研究所 東京支店  
参加者：会員50名、学生1名、団体会員 1社 3名  
司 会：川戸 由美、三瓶 直美

1. 14:00～14:05 市原代表挨拶
2. 14:05～14:10 業者情報提供(㈱三和化学)
3. 14:10～15:40

### 講演 ① 『言語聴覚士の仕事と言語障害の分類』

宮田 睦美 氏 (あきしま相互病院 デイケア 言語聴覚士)

### 講演 ② 『言語聴覚療法の実際 失語症／高次脳機能障害 ～症例を通じて～』

齋藤 るみ 氏 (昭島病院 リハビリテーション科 言語聴覚士)

### 講演内容：

#### ●言語聴覚士の仕事

脳卒中後の言語障害(失語症、構音障害)や聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害、また吃音、高次脳機能障害、認知症等に対して、コミュニケーションの問題の本質や発言メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施。必要に応じて訓練、指導助言その他の援助を行う。



#### ●言語聴覚療法

##### 構音障害に対して

##### 嚥下障害との関係

アプローチの方法・・・ストローを使用して呼吸訓練を実際にやってみました  
在宅でのリハビリテーションについても具体的に講義して頂きました

#### ●失語・高次脳機能障害について

症例を踏まえながら、検査内容などの実態、問題点を踏まえ、ST 訓練の実施内容を詳細に講義して頂きました



- 失語症に対する周りの理解も重要であり家族への指導も実施
- 失語症・高次脳機能障害の方が何を伝えたいのか、伝える技術、知るための技術が必要である  
とのこと  
失語症の方とのコミュニケーション時の工夫など具体的に講義していただき、今後の業務へ行かせる内容でありました。また、言葉にこだわらず、表情や身振り、絵や写真を用いて分かり合えることの喜びを大切にとのことでした。

#### 4. 業者情報提供 (株)三和化学研究所 小野 嘉之氏

『糖尿病連携手帳、糖尿病眼手帳のご紹介』

- 上記の手帳は、(株)三和化学研究所が協賛していて糖尿病の患者様を中心に無料配布されています。

#### 5. 16:00～16:50

症例検討 『在宅高齢者における低栄養への対応事例』

尾崎 秀佳 氏 (訪問薬樹薬局瀬谷 管理栄養士)

- 著明な体重減少、低体重、食欲・体力低下の在宅高齢者に対し、管理栄養士が訪問開始になる。
- 利用者の希望は「外を歩けるようになりたい」とのこと。何とか栄養量を増加させ、体重増加につなげたいとのテーマに対して検討しました。

～会場から～

- ・ 漢方について
- ・ 栄養剤として、ペプチドまで分解されたものを使用したらどうか
- ・ 早急に栄養状態を回復させる為、CVも検討した方が良い
- ・ 減少した体重を増加させる難しさ
- ・ その方に見合った体重があるため一概に BMI で評価しない方が良い
- ・ 第一印象としての主観的な見方、アセスメントをしっかりとすべき 等

医師、歯科医師、大学教授、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士等が、それぞれの経験を踏まえながら、様々な意見が飛び交う白熱した症例検討となりました

#### 6. 終了挨拶 山川 治 歯科医師

次回開催：平成27年3月 1日 (日)

報告：第72回研究会担当 川戸・三瓶・尾崎  
議事録 文責 三瓶 直美